

シンポジウム

私たちの地域における 次世代継承への第一歩

～人口減少社会における民俗芸能の危機と、新たな協働のカタチ～

少子高齢化や娯楽の多様化により、地域コミュニティの基盤である「民俗芸能」の保存・継承が全県的な課題となっています。

本シンポジウムでは、専門家による基調講演や南信州での官民協働の先進事例をもとに、地域の壁を越えた次世代継承への第一歩を参加者の皆さまとともに考えます。

※写真はイメージ

安曇野会場

令和8年 8月31日 月

時間 13時30分～16時30分

会場 長野県安曇野庁舎 4階 講堂
(安曇野市豊科4960-1)

長野会場

令和8年 9月3日 木

時間 13時30分～16時30分

会場 ホテル信濃路 3階 飯綱
(長野市中御所岡田町131-4)

※両日ともプログラムの基本構成は同一ですが、第3部のパネリストが一部異なります。
※駐車場が限られておりますので、可能な限り公共交通機関の利用や乗り合わせにご協力をお願いします。

対象者：どなたでもご参加いただけます。特に以下の方におすすめです。

(市町村の文化財担当者、民俗芸能保存会の皆さま、郷土芸能や地域づくりに関心のある方など)

申込方法：右記二次元コード (Webフォーム)、

または電話 (026 - 224 - 0504)、E-mail (sota.tamaki@neri.or.jp) よりお申し込みください。

※当日の参加も可能ですが、会場準備の都合上、可能な限り事前のお申込みに、ご協力くださいますようお願いいたします。

申込みはこちらから



主催 長野県

協力 一般財団法人長野県文化振興事業団アーツカウンシル推進局 (信州アーツカウンシル)、公益財団法人八十二文化財団

【お問い合わせ】運営事務局：一般財団法人長野経済研究所

TEL：026-224-0504 (担当：玉木、大沼田、傳田)

【シンポジウム プログラム】

13:30~ 開会・趣旨説明

長野県における「民俗芸能保存・継承支援調査研究事業」の全体概要について

13:40~ 第1部：基調講演

テーマ：「人口減少地域における民俗文化伝承の課題と今後の展望」

櫻井 弘人氏

(國學院大學兼任講師／元飯田市美術博物館学芸員／長野県文化財保護審議会委員)

長年にわたり南信州をはじめ長野県内各地の民俗芸能・祭礼の調査研究に携わる。南信州民俗芸能継承推進協議会アドバイザーとして、「南信州民俗芸能パートナー企業制度」をはじめとする民俗芸能の保存・継承の取組を支援するとともに、記録保存や調査研究を通じて、地域の伝統文化の継承・活用に取り組んでいる。



14:30~ 第2部：事例紹介

テーマ：「官民協働による南信州モデルの水平展開」

矢沢 哲也氏

(長野県南信州地域振興局リニア活用・企画振興課 課長)

※企業や行政が一体となって民俗芸能を支える「パートナー企業登録制度」など、現場の具体的な実践事例をご紹介します。
※県内の民俗芸能保存会等の皆さまによる事例発表（予定）



15:00~ 第3部：座談会&意見交換

テーマ：「私たちの地域における次世代継承への第一歩」

※会場の皆様からの意見も交え、地域課題の共有とネットワークづくりのための対話を行います。

<ファシリテーター>

野村 政之氏

(信州アーツカウンシル ゼネラルコーディネーター)

舞台芸術の企画制作・創作活動と、公的な文化芸術支援の双方に携わる。公共ホール、劇団・劇場制作部、沖縄アーツカウンシル、長野県文化政策課を経て現職。行政・文化団体・地域住民など多様な主体との協働を促進し、文化芸術を通じた地域課題の解決やコミュニティ形成、地域文化の継承・発展に向けた伴走支援や場づくりに取り組んでいる。

※両日登壇



<パネリスト>

※パネリストとして、櫻井弘人氏、矢沢哲也氏も両日登壇

近藤 大知氏

(飯田市美術博物館 学芸員)



南信州を中心とした民俗芸能や祭礼の調査・研究に従事。文化財保護の専門的な立場から地域の伝統文化の記録・調査・普及に取り組む、民俗芸能の保存・継承を支援している。

※8月31日のみ登壇

野牧 和将氏

(下栗霜月祭保存会)



飯田市上村下栗地区で伝承される国指定重要無形民俗文化財「霜月祭」の保存と次世代への継承に尽力。人口減少が進む地域において、現場の最前線で祭りの維持やコミュニティの活性化に取り組む。

※8月31日のみ登壇

三井 哲氏

(八十二文化財団 専務理事)



長野県内の文化財保護や芸術文化の振興に関する助成・支援事業を推進。地域に根ざした文化活動や民俗芸能を含む伝統文化の保存・継承、文化を活かした地域づくりを支援している。

※9月3日のみ登壇